

# 正義清潔が絶対の社会

犯罪ではなくても誰にでも人に言えない恥ずかしいことはある。汚ない、醜い、悪い一面がある。自然は美しいが決して清潔ではない。それを陰や悪や醜を一切認めず許さず正義(フェア)と清潔(ピュア)を求める。上っ面をきれいにすれば中身もきれいになるという教条が威力を振るっている。

経宮管理講座 364 染谷和巳

## 使用禁止用語と差別撤廃運動

「野性の証明」という映画をB Sテレビで観ていたら音声が途切れた。「あれ？」と思つてみるとすぐ戻つた。前後のつながりから「さちが」という言葉を消したのだと判つた。

四十年前の映画のせりふをチエックして、使つてはいけない言葉、を消している。そうしない上から文句を言われる、いや文句では済まない、会社が裁判所に呼ばれて処罰されるかもしれないからである。

新聞やテレビは「使用禁止用語」を選び出して自主規制している。テレビのパラエティ番組でタレントのヒロミが、妻の元アイドルの松本伊代が家事をほとんどしな

今日では早く帰ると言うのと妻が「じゃ夕飯作っておくね」と言う。ここまではよい。家に戻るとテーブルのびで固くなったそばが置いてある。朝、自分が出掛ける前にゆでそのまま置いたのだ。ヒロミは「うちのはプロだから」と笑つて言う。ヒロミは片付けや食器洗いは好きだから率先してしていると云う。そして「させる」と遅い逆によこしてしまふ。何と云つてもうちのはプロなんだ。短い話の中で「プロ」が三回出てきた。

また女性差別になるからとビジネスマンをビジネスパーソン、カメラマンをフォトグラファーと表現し、「マン」のつく言葉を一掃した。

さらに人種差別の撤廃運動を法制化し、会社や学校はその地域に住む黒人、ヒスパニック(スペイン、ポルトガルの植民地だった中南米諸国からの移民)、アジア人そして白人の比率に応じて労働者や学生を受け入れなければならないようになった。この比率を守らない会社は処罰された。

また「年齢や性別、障害の有無を理由に採用不採用を決めてはならない」が徹底し、不採用、不合格になった労働者や学生の訴訟が

産経新聞の論説委員 阿比留瑠比が、「ポリテイカル・コレクトネスで日本が減じる」と言っている。

ポリテイカル・コレクトネス(以下省略してポリコレ)は政治的妥当性と訳されているがこれでは意味が解らない。解る日本語にする」と「差別偏見のない言葉を使う運動から出発し、すべての差別をなくす国家的規模の活動」である。端的に言えば「法律による弱者優遇」である。

差別は厳然と続いている。建前に正面切つて反対する人はいない。なぜなら建前はフェアでピュアだから。反対すればフェアでない人、ピュアでない人と見做され、社会からつまはじきされ除け者にされるからである。

「何もそこまでしなくても」と思いながら正義の刃で切られるのが恐ろしくて「いいね」と答えてしまふ。

マッカーサーは「日本人は中学生並み」と評したが、人間の練度つまり人間性と社会性においてはアメリカ人のほうが子供供つぽい。正義清潔が大事でないとは言わないが、これよりもっと価値のあるものがある。日本人ははるかに洗練された尊い価値観を身につけていた。それは貴賤貧富に関わらず共通の常識あるいは社会通念として誰もが持っていた。

「義理がすたれりや、この世は闇だ」と流行歌にあるが、正義を貫くことがもし義理を欠くことになれば、正義を捨てて義理を通した。

「情けは人のためならず」と言つて、思いやりとやさしい心を高く評価した。計算ずくで人に尽くすのではなく、心から相手のために力を貸せばそれは必ず自分に返ってくることを知っていて他人に親切にした。

以前「忌諱多くして民貧す」という老子の言葉を借りて法律や規制が多くなればなるほど、社会は正義と清潔の建前が跋扈して住みにくくなると書いたが、まさに今の日本はポリコレの建前社会になってしまった。

子供に対する親の暴力が一切禁止になる。荒田は将棋を指している最中、小学生の長男がテレビに気を取られてよを見をしたのでゲンコを見舞った。高校生の次男とバチンコ屋で出逢つたのでその場でピンタを張った。女子は叩かなかつたが、娘が小さい時、バスの中で「座りたいよお」と母親にせがんだので頭をコツンと叩いた。荒田のこうした行為はこれからは許されない。悪い親と非難される。

## 価値あるものを皆捨てる民族

「恥を知る」のが大人で、恥知らずな言動をする人は一人前に見られなかつた。

「恕の精神」は思いやりの心で相手の過ちを許す。自分も同じことをする。お互い様の寛大な心を持つ。

「清濁併せ呑む」度量の大きい人が立派な人で、濁を許さない正義派は偏屈な未熟者とされた。これがかつての日本人の価値観。今の日本人はこれを捨ててアメリカ流の正義清潔を上等の価値観と信じている。信じて自らを不幸にする法律や規制作りを精を出して痛みに身にしみるまで。働き方改革法、改正入国管理法、道徳や英語を小学校の授業に入れる教育改革など、こうした法律は役人の仕事を増やし役所の予算を増やし役人の数をさらに増やすメリットがあるが、デメリットはその十倍はある。